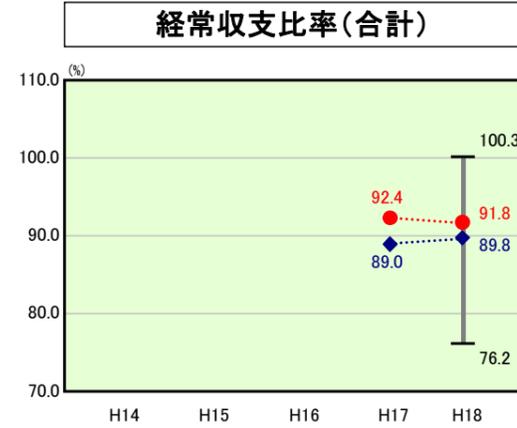


歳出比較分析表(平成18年度普通会計決算)

熊本県 和水町

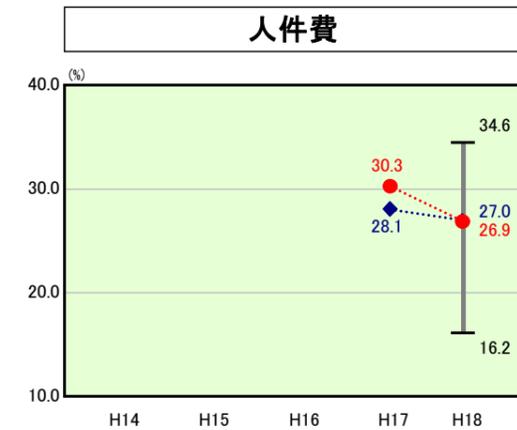
経常収支比率の分析



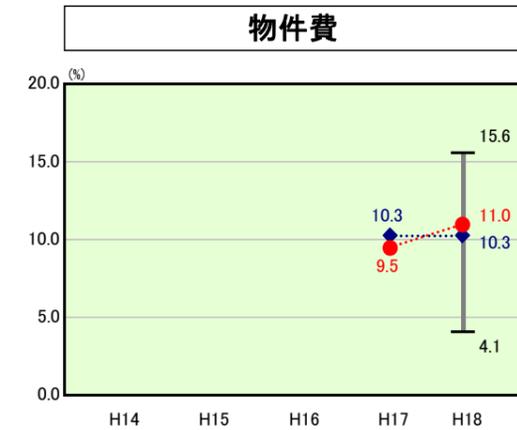
当該団体値 ●
類似団体内平均値 ◆
類似団体内最大値 ▮
類似団体内最小値 ▾

人口	12,193人(H19.3.31現在)
面積	98.75 km ²
歳入総額	6,043,231千円
歳出総額	5,679,316千円
実質収支	336,758千円

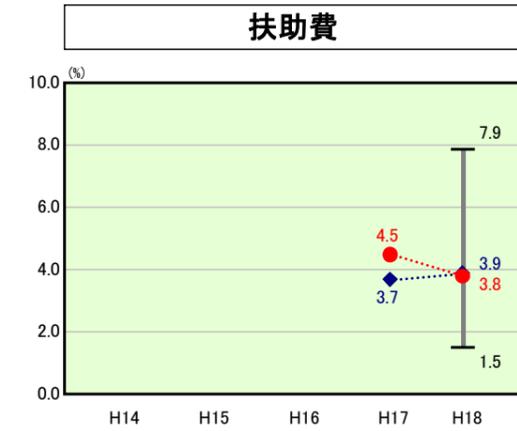
H18類似団体内順位 27/55
全国市町村平均 90.3
熊本県市町村平均 92.0



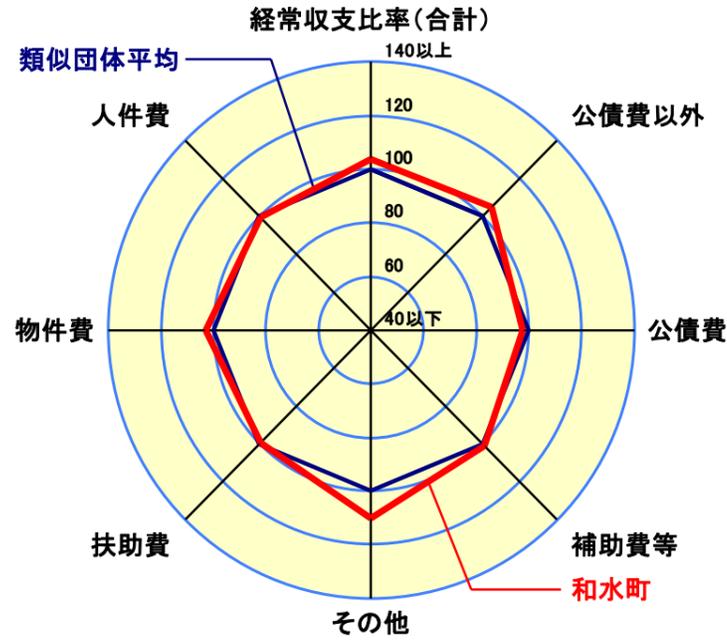
H18類似団体内順位 25/55
全国市町村平均 28.2
熊本県市町村平均 28.6



H18類似団体内順位 33/55
全国市町村平均 12.9
熊本県市町村平均 10.3



H18類似団体内順位 33/55
全国市町村平均 8.6
熊本県市町村平均 9.2



- ※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

人件費：前年度より割合が下がり、類似団体平均・全国・熊本県平均を下回っている。今後も職員数の削減に努め、事業の民間委託等の可能性も探る。事業費支弁分を含めた総人件費では、各指標が悪くなっており、事業毎に採算性が向上するよう利用者・加入者等の増加を図りたい。

物件費：類似団体平均より高い占有比率にある。まずは旅費支給の見直しを行う。合併効果を引き出す点からも、役場支所の体制等も見直し物件費削減につなげたい。

扶助費：類似団体平均とほぼ同じで、全国平均・熊本県平均より良好な比率にある。少子化対策等で政策的支出も関係している。弱者支援の基準にも配慮しつつ、増高しないよう留意したい。

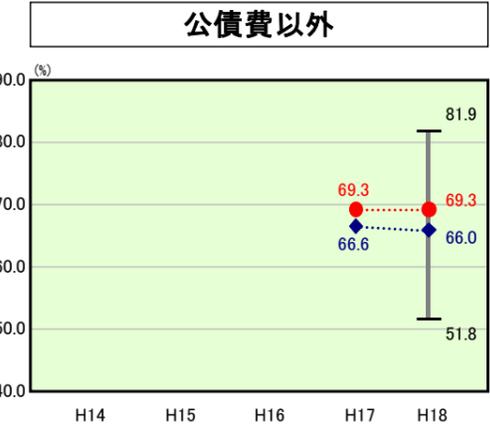
補助費等：本比率は、平均値をやや上回っている。一部事務組合に対するものは、関係団体とも協力して削減に努める必要がある。助成団体等にも、積極的な削減への説明・協力を求めていきたい。

公債費：類似団体平均比率より少し良好だが、全国・熊本県平均を上回り削減に努力する必要がある。過去の高利率での借入起債について、借換債の利用も図りたい。本町は、町立病院や特別養護老人ホームを所有しており、少子化に伴う学校統廃合も検討されている。これらに絡んで新たな起債も予想され、将来への負担等を十分考慮し計画執行して行く必要がある。

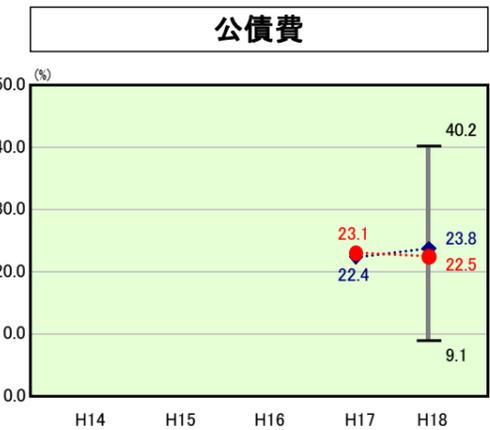
その他：本町は高い割合を示しており、繰出金等の支出削減に努める必要がある。特に医療・介護関係への支出を抑えるためにも、健康増進と予防事業を積極的に進めたい。企業会計では、経費の節減と独立採算を意識し事業に当たる必要がある。

普通建設事業費：本比率は、政策的事業執行に左右される要素が高いため、長期的な計画の基で留意したい。

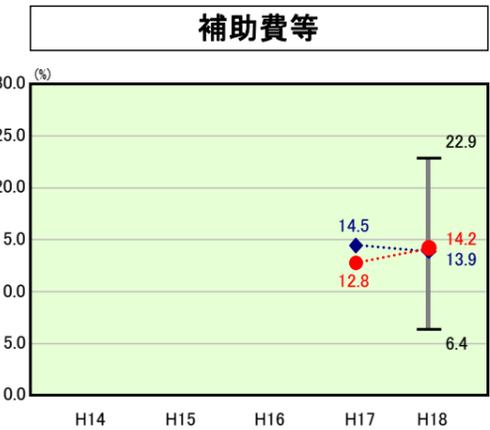
補助・単独事業を含め、執行科目毎に金額制限を設けるなどして抑制に努める必要がある。



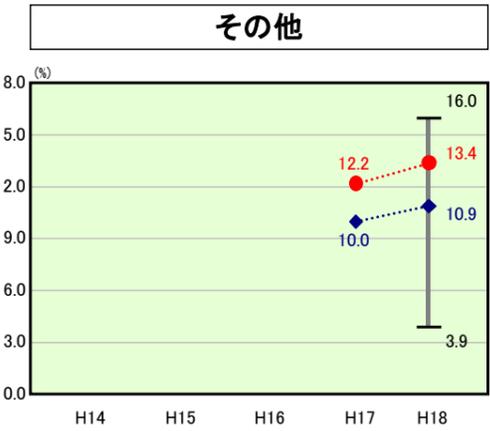
H18類似団体内順位 40/55
全国市町村平均 70.5
熊本県市町村平均 71.3



H18類似団体内順位 23/55
全国市町村平均 19.8
熊本県市町村平均 20.7



H18類似団体内順位 33/55
全国市町村平均 10.2
熊本県市町村平均 11.3



H18類似団体内順位 50/55
全国市町村平均 10.6
熊本県市町村平均 11.9